
今日 の 力

2026年7月27日 ～ 8月2日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

7月27日(月)

心 の 菜 園

聖書朗読 ヨハネの福音書 4:6～14

しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことがありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」
ヨハネ 4:14

我が家の家庭菜園で毎年どのくらいの収穫があるかは見当もつきません。菜園の収穫物だけでまかなわなければならないとしたら、きっとひもじい思いをすることになるでしょう。ありがたいことにスーパーがあります。それでも、私が菜園をやっているのは、家庭菜園で採れた野菜の方が栄養があるんじゃないかとか、収穫した物を他の人たちに分けられたら良いなとかいう希望があるからです。

私たちの霊的生活でも同じことが言えます。神様が私たちのうちにどのくらいの御霊の実を結んでくださるかはわかりませんが、私たちは希望を持ってキリストのうちに私たちの人生を植えるのです。もし私たちが、イエス様なしに、聖書なしに、御霊もなく、教会もなく、自分たちだけで霊的生活を維持しようとするなら、ちょうど食べ物なしでは肉体的に餓死してしまうように、霊的に飢えてしまいます。

ヤコブ1:21は『心に植えつけられたみことばを、すなおに受け入れなさい。』、私たちの心の土壌に蔓延しようとする罪という雑草を抜いてしまいなさいと言っています。Ⅱペテロ1章で、ペテロは信仰に加えるべきものを挙げ、注意して手をかける必要のある菜園のように、神様が植えられたものを養いなさいと励ましています。

でも、そのような成長は何一つ私たち自身の力によるものではありません。私たちを元気づけ、支え、新たないのちが私たちのうちでよく育つようにしてくださる、生ける水であられるイエス様によるのです。イエス様の生ける水を十分にいただくと、私たちの魂は渇くことはありません。主をほめたたえよ！

讃美歌 187 主よいのちの ことばを

祈り お父様、生ける水であられるイエス様をありがとうございます。
あなたにしっかり根付き、御霊によって人生に良き実を結ぶことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 ポートランド / グレン・アウス

7月28日（火）

真 実 の 愛

聖書朗読 ヨハネの福音書 4：16～26

ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ。』と叫ぶ声
がした。 マタイ 25：6

イエス様はガリラヤへ向かわれるのにサマリヤを通過して行かなければ
なりませんでした。サマリヤの町にある井戸で一人の女と会うことにな
っていました。このサマリヤの女との会話が、記録にあるイエス様が個
人的に交わされた会話の中で最も長いものでした。初めてイエス様はこ
の女に対してご自分の正体を明かされました。イエス様がこの地方への
宣教に最初に選ばれたのは、この女によってでした。

主イエス様からそのように注目されるということは、このサマリヤの女
は精力的で評判の良い人だったに違いありません。いえ、そうではあり
ません。彼女は人目を避けるために真昼間の暑い盛りに、村の外にある
井戸に水を汲みに来ました。というのも、彼女の評判は高潔どころでは
なく、5度結婚・離婚を繰り返し、今は別の男と同棲しているのですか
ら、なるほどと思えます。イエス様は文化的・民族的・宗教的障害を壊
して、この失意の拒絶された罪深い女に手を差し伸べられました。イエ
ス様は優しく、でも率直に、彼女に救いの希望を約束されました。

イエス様は、永遠のいのちに通ずる生ける水をくださいます。自分が
話しているこのお方こそ約束されたメシヤなのだということがわかった
とき、すべてが変わりました。今まで彼女は多くの結婚・人間関係に破
れ、自分は誰にも望まれていないのだと感じていました。でも、ここに
おられるお方が、彼女の真の愛、花婿、メシヤ、救い主だったのです。
突如、彼女は無限の価値・愛を知りました。それで、待ち切れない思い
で、人々に伝えに町に行ったのです。

讃美歌第二編 226 み神よ われを

祈 り 素晴らしい神様、私たちを捜し出すために、私たちの花婿であ
り、真の愛であるイエス様を送ってくださり感謝します。生ける
水、永遠のいのちをくださいます、ありがとうございます。あ
なたを愛します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ヴィクトリア / デイナ・メレネス

7月29日（水）

臨 生 体 験

聖書朗読 ヨハネの福音書 5：19～29

しかし、パウロが正義と節制とやがて来る審判とを論じたので、ペリ
クスは恐れを感じ、「今は帰ってよい。おりを見て、また呼び出そ
う。」と言った。 使徒 24：25

臨死体験をしたことがある人を知っていたら、彼らがたいいという
う体験を話したがるということをご存じでしょう。その一方で、もう少
しで救いに導かれそうになったにもかかわらず、この世の生活に戻って
しまった人々のことを思い出しました。つまり、“臨生体験”をした人
というのは、罪の中に死んでいたが、永遠のいのちに近づき、もう少し
でこの世界の向こうを仰ぎ見るところまで近づきながら、生ける屍の世
界に引き戻されてしまう人のことです。

金持ちの若い役人のことを思い出します。彼は永遠のいのちを求めて
いました。永遠のいのちを与えてくださる唯一のお方、イエス様のもと
に来て、正しい質問をし、正しい答えを得ました。それなのに、悲しみ
ながら立ち去ってしまいました。もう少しで永遠のいのちが得られた
“臨生体験”でした。（編注：マタイ 19：16～26、マルコ 10：17～27、ルカ 18：18～30）

そして忘れられないのが、老練で人を震え上がらせるペリクス総督で
す。パウロが正義と節制とやがて来る審判とを論じたので、ペリクスは
恐れを感じ、「今は帰ってよい。おりを見て、また呼び出そう」と言い
ました。もう少しで永遠のいのちが得られたのに、死の罪に留まってし
まいました。

聖書の中の最も有名な“臨生体験”はたぶんアグリッパ王がパウロに
「あなたは、わずかなことばで、私をキリスト者にしようとしている」
と言った時でしょう。（編注：使徒 26：1～29）

“臨生体験”をしている人を知っていますか。イエス様はいのちで
す。いのちが勝つように祈りましょう。今日、喜んでイエス様によって
生きられますように。

讃美歌 284 主のとうとき みことばは

祈 り お父様、あなたに近づきながら立ち去ってしまう時、お赦しくだ
さい。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アビリーン / パット・アンドリュース

7月30日(木)

羊になりたい！

聖書朗読 ヨハネの福音書 10：1～6

主は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。 詩篇 23：1

イエス様が説明される真の牧者の仕事を聞くと、そういう牧者の羊になりたいと思います。真の牧者は羊の囲いの門から入り、羊たちを緑の牧場に連れ出します。でも、ちゃんとした羊、イエス様を信ずる者はどう応答したらよいのでしょうか。牧者の声を聞き分けられるように、よく聴いていなければなりません。囲いに押し入ってくる強盗はうまいことを言うかもしれませんが、それは良く知っている真の牧者の声ではありません。

忠実に聴いて、イエス様の御声かどうかを聞き分けられるようになりたいと思います。イエス様にお従いしてどこにでも行く覚悟で、門でイエス様にお会いします。イエス様が先頭に立って導いてくださいますから、イエス様にお従いします。どこに行くんですかと訊いたり、振り返ったりせずに、ひたすらイエス様にお従いします。イエス様がどこに向かわれているのかは関係ありません。目的地に着いたとき、そこに何かあるのかとか、旅はどのくらいかかるのかとかは関係ありません。

従うことが何より重要です。私たちが従うようにと、イエス様は望み命じておられます。従うことがすべてなのです。

讃美歌第二編 41 主は わが牧者

祈り お父様、先走りして飛び出してしまったり、あなたにお従いできなかつたり、どこに行くのですかと尋ねたりする私をお赦してください。主よ、あなたのみこころを求め、お従いするときの方がすべて上手く行くことを思い起こさせてください。イエス様によって。アーメン。



カリフォルニア州 サウザンド・オークス /
ノーマ・プリヴィット

7月31日(金)

神様の御声

聖書朗読 ヨハネの福音書 10：22～30

わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。 ヨハネ 10：27

神様の御声は私たちの注意を引きます。預言者エリヤに囁かれたかすかな細い声から、海上にとどろく雷鳴に到るまで、主の御声は力強く、はっきりとした目的を持ち、また個人的なものです。

神様の御声は近くで聞くと一番良く聞こえます。エリヤに対して主は叫ばれませんでした。二人だけが聞こえるように、御手を丸めて耳元に当て、父が傍にいる子どもに呼びかけるように囁かれたのです。エリヤは近づき、身を寄せて、御声を聴きました。

聖書の中で、神様は神様のみ民にいろいろな方法で語られました。

- ・会見の天幕でモーセと（出エジプト記 33：11）
- ・嵐の中でヨブと（ヨブ記 37：1～5）
- ・天地創造の雷鳴を超えてダビデと（詩篇：29：3～4）

では、今日、神様は私たちにどのように語られるのでしょうか。神様は私たちに静まるようにと求めておられます。（詩篇 46：10）

主が私たちに近くに寄るように合図され、御手を優しく耳に当て、「わたしがまずあなたを愛しました」と囁かれるお姿を想像します。（I ヨハネ 4：19）また、「わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたに近づきます」と言ってください。 （ヤコブ 4：8）

神様の御声は、聖書を通して、創造のみわざを通して、礼拝によって、聖霊の軽いうながしによって、普通のやり方や驚くべき方法で答えられた祈りによって、届きます。よくある問題は、神様が語られるかどうかではなくて、私たちが御声が聞こえるまで十分長く静まっているかどうかなのです。

聖歌 480 輝く日を仰ぐとき

祈り お父様、あなたの御声を聞くことができるように、私たちの心を静めてください。あなたが語られるとき、み傍近くに寄り聴くことを教えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 ポートランド / グレン・アウス

8月1日(土)

歴史が証明する神様の真実

聖書朗読 ヨハネの福音書 11:45～53

あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。
創世記 50:20a

サタンにとってはそれは悔しかつたに違いありません。サタンは人を誘惑し、人をそそのかしてまずい選択をさせ、彼の邪悪な意志が神の御国に打撃を与えることになることを確信しています。ところが、彼が見ているうちに、神様が彼の邪悪な働きを益としてしまうのです。兄弟たちに奴隷として売り飛ばされたという出来事があった後で、ヨセフが兄弟たちに言ったのは正にそういうことです。ヨセフは結局、家族を飢餓から救い出す者となったのです。

大祭司カヤパは、イエス様を殺してしまえば、イエス様が始められた宣教活動は立ち消えになるだろうと考えました。実際には正反対に、ますます盛んになりました。カヤパは、自分では知らないで、人類を救う神様のご計画という真実を預言したのです。

だとすると、私たちの病も信仰を示す機会になるかもしれません。自然災害はイエス様の御名によって奉仕する機会になります。信者に対する暴力犯罪ですら力強い証しの瞬間になります。

ですから、神様はサタンよりも強力だということを覚えていきましょう。サタンがあなたを傷つけようとしてやっていることは何でも、神様によって、他の人を祝福するために用いられるかもしれないのです。どんなことがあっても神様に忠実でいきましょう。あなたには見えないし、わからないとしても、神様はあなたを神様のご栄光のためにお用いになるために働いておられます。

讃美歌 74 涯しも 知られぬ

祈り 天のお父様、あなたが悪と思われることを働かせて益としてくださるといつも信じることができるようにお助けください。落胆させないでください。イエス様の貴いお名前によって。アーメン。

テキサス州 アビリーン / スティーブ・リッジエル

8月2日(日)

素晴らしいささげもの

聖書朗読 ヨハネの福音書 12:3～5

マリヤは、非常に高価な、純粋なナルドの香油三百グラムを取って、イエスの足に塗り、彼女の髪の毛でイエスの足をぬぐった。家は香油のかおりでいっぱいになった。
ヨハネ 12:3

マリヤの愛の行いは途方もないものでした。非常に高価な捧げ物がイエス様への純粋な愛として注がれたのです。それは無駄遣いではありませんでした。それは、マリヤにとって、自分に希望を与え、人生を変えてくださったお方をたたえる彼女なりのやり方での礼拝でした。

でも、皆が皆、そのようには見えませんでした。まさに次の節で、イスカリオテ・ユダが「なぜ、この香油を売って、貧しい人々に施さなかったのか」と言って、彼女を非難しました。(ヨハネ12:5) 後に聖書は、ユダがそう言った真意が誠実なものではなかったと明らかにしています。心のきよい者にとっては、神様をたたえる行いは素晴らしいものですが、墮落した者にとっては、聖なるものでさえゆがんで見えるのです。

私たちの人生でも同じような瞬間に直面することが時にあります。親切、寛容、神様への奉仕をささげようとしているのに、その意図を疑って、すげなく断る人もいます。信仰的に若い頃だったら、そんな風にされて混乱したり、がっかりしたりしたかもしれません。でも、信仰の成長とともに、私たちは学びます。誰かが誤解したからといって、神様にお従いすることに疑問を感じてはなりません。

良いわざに反対する人たちは往々にして彼ら自身の傷、恐れ、誤った優先順位から語っていることがあります。反対者は献身を封じるために批判を使いたがります。信仰、奉仕、礼拝を守りましょう。あなたに反対する者のために祈りましょう。あなたの神様へのささげものは貴いものです。神様はすべて見ておられます。

讃美歌 58 神よ みまえに

祈り お父様、あなたへの献身が誤解されていると感じられる時、私の心を強めてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アーカンソー州 サーシー / ケリー・ノーラン